

ツナガル！ ヒロガル！ 〈ろうきん〉運動の

輪

今回の運営委員会

榛南支店

榛南支店運営委員会(12人)

運営委員会とは…会員(組合)の代表者と〈ろうきん〉の営業店職員で構成される組織。〈ろうきん〉の運営を民主的に行なうために、理事会に向けて、各会員の率直な意見を発信し、理事会で決定された方針や事業計画を各営業店の立場から、より具体化して地域会員・勤労者に展開しています。

このコーナーでは、独自の活動を展開する運営委員会の様子を紹介していきます。

お話をうかがった運営委員さん

●副運営委員長
田村文孝さん
(小糸製作所労働組合榛原支部)

●副運営委員長
加藤三三男さん
(スズキ労働組合相良支部)

●運営委員長
増田伸浩さん
(全矢崎労働組合榛原支部)

！コミュニケーション パワー！！

「榛南支店運営委員会」



榛南支店運営委員会は、12名で活動しています。少人数ですが、「コミュニケーション」がとれやすくて、とてもまとまりがあります。〈ろうきん〉運動を進めていく上で、ちょうどいい「カタチ」ができています。

すく、とてもまとまりがあります。〈ろうきん〉運動を進めていく上で、ちょうどいい「カタチ」ができています。



！「TOPICS」！?

榛南支店運営委員会のこだわりは「知らせる活動を徹底して実践すること。会員にただチラシ一枚を持っていくだけでも簡単に

運営委員会の司会は、運営委員長が行なっていて、支店長と妙にウマが合っています。そのため、会議の雰囲気はいつも明るく、進行もスムーズです。討議中は笑いあり、時には熱い議論もあり、榛南支店運営委員会の特徴は「誰も気兼ねなく、意見を言える環境」があることといえます。



運営委員会に参加する各運営委員は、自分の組織での意見や要望を、きっちり用意して参加してきます。これは、〈ろうきん〉運動を各組合が真剣に実践してきた証であり、これからも続く「榛南支店運営委員会のスタイル」と感じています。



運営委員会の司会は、運営委員長が行なっていて、支店長と妙にウマが合っています。そのため、会議の雰囲気はいつも明るく、進行もスムーズです。討議中は笑いあり、時には熱い議論もあり、榛南支店運営委員会の特徴は「誰も気兼ねなく、意見を言える環境」があることといえます。



「TOPICS」を職場に配布すると、休憩室に一定期間置かれるなど、確実に情報の浸透度は高まっています。実際に「TOPICS」を見た組合員から、「家計見直し」を含めた住宅ローン借換相談があるなどの実績にもつながっています。



「TOPICS」は、毎月発行しています。事前の内容確認は、運営委員会のメインの議題になっていて、いつも多くの意見や要望が出ます。知らせる活動の大切さを運営委員会自身が理解しているからこそ、盛り上がるのだと思います。この「TOPICS」には、運営委員の「たましい」が込められているんです。

！合い言葉は、 20年連続！！



榛南支店は開設以来、19年連続で「預金・融資」の目標を達成して

このコーナーでは、運営委員会の活動を紹介します。取材を希望される運営委員会は、ぜひミーティング編集室へご連絡ください。



©ROKIN

目標達成の継続は、榛南地域でさらに〈ろうきん〉運動を広げるための原動力になるはず。各会員も厳しい状況ですが、〈運営委員会〉・〈会員〉・〈榛南支店職員〉が一体となって、来年3月の支店開設20周年を、目標達成とともに迎えることができたいと思います。

東日本大震災の影響による収入減少などから、預金を引き出す組合員が増加しています。でも、これは決して後ろ向きなことではなく、組合員は「いざという時」のために積立しているわけで、しっかりと生活設計ができている裏づけでもあります。状況が良くなれば、おのずと預金数字も回復していくと考えています。

諸先輩から「たすき」をもらい今まで継続してきましたが、正直「プレッシャー」もあります。しかし榛南地域の〈ろうきん〉運動の成果としてこだわっていききたいと思っています。